

徹底準備で臨む講演

《きっかけは、中学校の養護教諭のひとと言った。『せつかく講師の先生に来てもらつても、生徒が寝ちゃうんです』》

保健室に薬を届けに行つた時、相談を受けました。【講師の方に申し訳なくて…】と【えつ？それって、違うんじゃない】

『前日にハーサルし、時間も30分と決めました。大きな荷物を抱えていくと、「このおいややん何にきたんだ」と子どもが興味を持つてくれます。それが作戦でしたね。』

すればいいんじゃないかなって。

前日にリハーサルし、時間も30分と決めました。大きな荷物を抱えていくと、「このおいややん何にきたんだ」と子どもが興味を持つてくれます。それが作戦でしたね。『前日にハーサルし、時間も30分と決めました。大きな荷物を抱えていくと、「このおいややん何にきたんだ」と子どもが興味を持つてくれます。それが作戦でしたね。』

田中 洋介さん

学校で薬物防止を訴える薬剤師



たなか・ようすけ 糸田町出身。福岡大に薬学部を卒業後、旧田辺製薬（大阪市）に入社。サッカーチームで活躍。1997年、祖母が経営する薬局を継ぐため、帰郷。2005年から、県内の学校を回り講演活動を実施。職場でも、趣味のサッカークラブでも、誰もが認めるムードメーカー。38歳。

四つの理由を挙げて説明する。講演では特に、③に時間を割く》

中学生には、中2から45歳まで1日1箱吸つたら、中古のベニツや中古マンションが買える、と話します。もちろん、スクリーンには、ベンツやマンションを映す。

小学生低学年には、アンパンマン。薬物の売人の間で、シンナーが「アンパン」と呼ばれていることから、シンナーに侵されたいにも悪そうなアンパンマンを映すんです。効果がありますよ。

子どもは、大人がどれだけ真剣に向き合っているか、本気で伝えようとしているか、怖いくらいよく見ていて。だから、こっちも手が抜けない。とにかくれば、必ず応えてくれる

ソコンに取り込みます。例えば、人気アイドルが好意なアクセサリー、高級外車、海外旅行のツアーリー料金。それを、話の中に織り交ぜるんです。年齢、地域によつて内容を変えます。なにより、最新の情報でなければいけません。

この学校では毎年、子どもたちに薬物の恐ろしさを教えるため、外部講師を招いていました。代わり映えのしない講座に、生徒たちは眠気を誘っていたのです。でも、本当に子どもたちだけに問題があるのだろうかと、疑問に思つたんです。だったら、寝させない講座に